

# アスパラガス「母基地際押し倒し法」の開発

収穫の支障となる母茎の立茎位置と若茎の萌芽位置を分離することで、収穫する若茎を見つけやすくし、柄の長い電動式収穫ハサミを効率的に使用できる「母基地際押し倒し法」を開発しました。（特許第4941930号）

## ■ アスパラガス露地全期立茎栽培の収穫作業は・・・



慣行の立茎状況



母茎

- 収穫する若茎と母茎が混在
- 側枝が垂れ下がり、若茎が見つけ難い
- 母茎を避けながらハサミや鎌で収穫

若茎



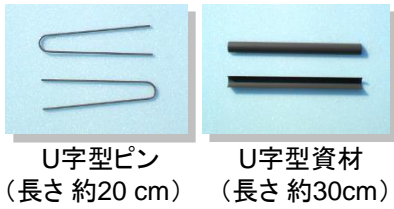
慣行の収穫作業

- 母茎群落内にもぐり込む姿勢で採取
- 雨天や降雨後の収穫では、雨水に濡れた茎葉が全身に付着するため、不快感大！

## ■ 母茎の立茎位置と若茎の萌芽部位を分離する「母基地際押し倒し法」を開発！



### ■ 用いる資材



※押し倒し作業は、降雨後を避け、日中が最適です。



畝の片側へ母茎とする若茎を押し倒します。母茎は、押し倒した先から上に向かって伸長し、側枝・擬葉を展開します。

通路の狭い既存圃場では隣り合う2畝の母茎を向い合わせに押し倒し、作業通路を確保する。



収穫の支障となる母茎の立茎位置と収穫する若茎の萌芽位置を分離でき、若茎を容易に見つけることができます。

### ■ 現在の取り組み

#### ■ 収穫作業の軽労化！



母茎の分離により、開発中の柄の長い電動式収穫ハサミ\*を効率的に利用でき、足腰の負担を大幅に軽減できます！

#### ■ 慣行と同等の収量に

隣合う2畝の母茎を向かい合わせに押し倒す栽培における寡日照期の減収を防ぐため、群落内日射量を増す茎葉管理技術の確立に取り組んでいます。

【※導入に当たっては】従来の立茎方法と異なるため、小面積での試験的栽培からの導入をお願いしています。また、本栽培法は 広島県が特許を保有しています。導入に当たっては広島県との実施許諾契約が必要です。詳細は技術支援部までご連絡ください。【連絡先 082-422-0522 (技術支援部)】

■ 本研究の一部は、農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「アスパラガス収穫作業の「つらい姿勢をゼロ」とする軽労・省力化技術の開発（平成21～23年度）」において、実施しました。  
\*収穫ハサミの開発は、(独)農研機構中央農業総合研究センター及び金星大島工業株式会社との共同で取り組みました。